

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2018年9月
第34号
(年4回発行)

秋の
お彼岸号

発行部数3千部



シリーズ浄土宗／浄土宗と葬儀浄土宗中興の祖
「聖問上人と聖聡上人」

実践教室／中陰と年忌法要

Q & A／「香典袋の表書き」

第9回お月見コンサートのご案内

彼岸会／合同彼岸会法要のご案内



浄土を想う日、先祖を想う日でもある彼岸会には、多くの方がお墓参りに足を運びます。それに伴い、お墓の後も継ぐものがいなくなってしまう…。墓相について…。などなど気になることも出てくるのでは？

日本の祝日法では、秋分の日を「先祖を敬い、亡くなった人を偲ぶ日」とし法律で国民の祝日と定められています。そんなところからも季節の仏教行事であるお彼岸には、毎年多くの方がお墓参りに足を運ばれます。

お墓とはどんな場所なのでしょう。



お墓は感謝するための場所

お釈迦さまが亡くなられた時、そのご遺骨（仏舍利）は、8つに分骨され、お釈迦さまを慕う人々がそれぞれの国に持ち帰り仏舎利塔を建てて大切に保管されました。ここで人々はお釈迦さまのお徳を偲び、仏法に出遭ったそうです。

私たちがお墓を建てる時も故人への敬いの心から碑を建て、遺骨を大切に保管する場所とします。しかし、お墓は故人の居場所ではありません。お墓では私たちが故人とのつながりを確かめ、故人や先祖のおかげで私たちが今日あることを感謝します。

お墓参りに行くと、「俱会一處」の文字が刻まれた墓石を見ることがありますがどのような意味ですか？

「俱会一處」は、浄土宗が拠り所としている『浄土三部経』の一つ「仏説阿彌陀経」に出てくる言葉です。「ともに」という意味なのですが、それは先に浄土へ往生した先祖たちと共に浄土に生まれたいという気持ちを表しています。



先祖代々に渡り守ってきているお墓ですが、最近では承継問題で頭を悩ます方も増えているようですね。

はい。少子化だけが原因とは思いませんが、やはり後を継ぐ方がいらっしやらないという声は多く聞くようになりました。

では、西願寺や彩の都メモリアルパークに墓地をとられていて、今後ご自分

のお墓が無縁墓になってしまいかもと心配されている方は、どのようにすればいいのでしょうか？

西願寺の場合は、何年間かは墓所をそのままにして寺が代わってお墓を守るようにされる方もいらっしやいますし、亡くなった後にすぐ合祀されるという場合もあります。ご家庭の事情や考え方など様々なケースがありますから、どのようにしたいか相談してください。ばいと思います。

「無縁」とご心配される方もいらっしやいます。お寺が永代に渡ってお守りしますし、私たちの寺と縁があるのですから無縁とはなりません。

彩の都メモリアルパークでは、皆さんどのようにされているのでしょうか？

こちらにも墓所の後継がなく今後のことを考えて、今ある墓所を返還して、永代供養墓「華苑」や「光明苑」に移られている方もおります。

そのような場合でも、回忌法要などができるのでしょうか？

はい。通常と同じように法要を行うこともできますし、お彼岸には合同彼岸

会法要をお勧めしています。

お墓のことですと、編集部でも相談のお便りを頂くことがあるのですが、お墓の建て方や石の色や形などで、建立した方や身内に良くないことがおこるなど、墓相について悩まれている方もいるようです。その場合はどうすればいいですか？

お墓や仏事にまつわる迷信は数多くありますね。墓相についてもいろいろと言われているようですが、答えはまちまちでどれも根拠のないもの。気にしないのが一番だと思います。それでも困ったことがあれば一度お寺で話をきいてみてください。

家族の形態も、いろいろと変わってきて近年は仏事のこと、お墓のことでの私たちの悩みはつきません。そんな時に、気軽にたずねられるのは助かります。

西願寺では、仏事の他にもお月見コンサートや七福神めぐりウォーキングなどのイベントもしていますので気軽に足を運んで頂き皆さんにとって、もっと身近な存在になればと思います。

浄土宗中興の祖

「しようげい聖岡上人しようぞうと聖聡上人」

聖岡上人は室町時代初期を代表する学僧で、浄土宗が独立教団として発展していくための基礎を固めるため「五重相伝」という伝法の制度をつくり、聖岡上人の弟子聖聡上人がこの五重相伝を実施しました。二人の功績はその後の浄土宗発展に大きく貢献し浄土宗中興の祖と仰がれています。聖岡上人、聖聡上人はそれぞれどのような人物だったのでしょうか。



聖岡（1341-1420）了誉聖岡

聖岡上人は、一三四一（暦応四）年、常陸国（現在の茨城県）久慈郡の岩瀬城主白石宗義の子として生まれました。『鸞州上人絵詞伝』によると「所生の幼児、そのさま凡ならず、面に光彩ありて、聡明倫にこえたり。頂骨高くそびえ、額に三日月の形をあらわす」と記され額に三日月の相があったことから「三日月上人」とも呼ばれています。八歳で了実の弟子となって出家し、精進努力によりその後、「五重相伝」という伝法制度をつくり、浄土宗の体制を築きました。

聖聡（1366-1440）西誉聖聡

一三六六（貞治五）年、下総国（現在の千葉）に千葉氏胤の次男として生まれた聖聡上人は、九歳のときに千葉寺に入り真言密教を学んだのち、師である聖岡上人との出会いにより浄土宗に改宗し師の思想をひるめ、浄土宗をより発展させました。また、大本山増上寺は聖聡上人が開山し増上寺第一世となりました。

五重相伝

五重相伝とは、浄土宗の真髄である専修念仏の教えを五日から八日間の期間をかけ五つの書物によって段階的に授かる儀式で、最後に十念の正しいとなえ方が口伝されます。五重相伝を受けた人は、浄土宗の奥義を授かった証として戒名に誉号をつけることが許されます。

中陰と年忌法要

中陰忌

仏教が生まれたインドでは、生き物は「輪廻転生」と考えられていました。その輪廻転生にはいくつかの段階があり、この世に生を受けた時を生有、生きている時を本有、死ぬときを死有といいます。そして死からつぎに生を受けるまでの間を中有または中陰といい、その期間が四十九日間とされていたのです。

中陰は亡くなった日を一日目とし、七日目を初七日、次の七日目を二七日、以降三七日、四七日、五七日、六七日、と七日おきに仏事を勤め、七七日（四十九日）で満中陰とし、中陰忌の中でも特に丁寧にお勤めをする習わしになっています。

浄土宗の教えでは、故人は亡くなると同時に浄土に往生するとしているため、中有の考えはとりませんが、日本の仏教には中国から伝わった、死者を弔い祖先を大切にするとという日本のよき伝統習慣が色濃く残っています。ですから法要も、亡き人の遺徳を偲びつつ、この中陰の法要をご縁とし仏恩に感謝し、また、残された遺族が惜別の寂しさを少しづつ和らげていく為の期間として法要が営まれます。

年忌法要

亡くなった方の、年ごとの命日を「祥月命日」といい定められた年に営む法要が年忌法要（年回法要）です。宗旨、地域によっても異なりますが一般的には（表1）の法要が営まれます。法要は、祥月命日に営むことが最善ではありますが、当日に都合のつかない場合などは事前に行われることが多いようです。

【表1】

【中陰法要】		【年忌法要】	
種類	時期	種類	時期
初七日 <small>しよなのか</small>	臨終から7日目	1周忌	死亡後満1年目の祥月命日
二七日 <small>ふたなのか</small>	臨終から14日目	3回忌	死亡後満2年目の祥月命日
三七日 <small>みなのか</small>	臨終から21日目	7回忌	死亡後満6年目の祥月命日
四七日 <small>よなのか</small>	臨終から28日目	13回忌	死亡後満12年目の祥月命日
五七日 <small>いつなのか</small>	臨終から35日目	17回忌	死亡後満16年目の祥月命日
六七日 <small>むなのか</small>	臨終から42日目	23回忌	死亡後満22年目の祥月命日
七七日 <small>ななのか</small>	臨終から49日目	27回忌	死亡後満26年目の祥月命日
		33回忌	死亡後満32年目の祥月命日
		37回忌	死亡後満36年目の祥月命日
		50回忌	死亡後満49年目の祥月命日

※法要の時期は亡くなった日を含めて数えるのが一般的です

Q & A



御香典の表書きには御霊前と御仏前がありますがどのように使い分けるのですか？



「御香典」とは、御霊前や御仏前を含むお供え全般のことをいい、「香」は線香を、「典」はお供え物を意味します。通夜や葬儀・告別式に持参するもので故人にお花や線香のかわりに金銭をお供えします。御香典を持参する際仏式では、中陰の考えから四十九日までを「御霊前」とし、それ以降を「御仏前」とします。しかし、浄土真宗など一部の宗派では霊という言葉は用いず「御霊前」の表書きは使用しません。



■第9回 十三夜お月見コンサートのご案内■

今年で9回目を迎える十三夜お月見コンサートは、雅楽師の東儀秀樹さんの出演が決定しました。秋の夜空に奏でられる雅楽の音色を楽しむ一夜です。是非、足をお運びください。

日時／

平成30年10月19日(金)

18時受付

場所／西願寺本堂

参加費／1,000円



〈東儀秀樹 プロフィール〉

雅楽師 1959年東京生まれ。

東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた楽家である。宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演するほか、海外での公演にも参加、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。その一方で、ピアノやシンセサイザーとともに雅楽の持ち味を生かした独自の曲の創作にも情熱を傾ける。

(東儀秀樹オフィシャルウェブサイトより)

お月見コンサート・別時念佛会のお申込・お問合せ

西願寺

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1789



西願寺別時念佛会のご案内

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺本堂

■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。



暮らしの中の

仏教語

「堂々巡り」【どうどうめぐり】

どんなに議論を重ねても、なかなか意見がかみ合わず同じことを繰り返してしまうことを「堂々巡り」といいますが、もとは寺社の「お堂」がこの言葉の語源なのだから…。

祈願をしたり礼拝をするときに仏像や仏堂のまわりを回ることを指し、インドなどでは、僧侶だけでなく在家信者たちも仏堂へ参るときに、堂のまわりを右まわりになると回り、堂の正面へくると礼拝することを繰り返したのだそうです。

信心の強さを表した「堂々巡り」も、現在は、本来の意味とはかけ離れた何の進展もない無駄な繰り返しといった否定的なニュアンスが強い言葉として使われているのは、ちょっと悲しく感じてしまいますよね。



掲 示 板

●秋彼岸会

9月20日(木)～9月26日(水)

●葬祭フェア開催

9月22日(土) 23日(日)

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示をし葬儀についてのご相談やご質問をお受けいたします。お気軽にお越しください。



葬祭フェアについての
お問合せ(彩の都 あすま会館)

TEL. 048-921-4194

彩の都メモリアルパーク

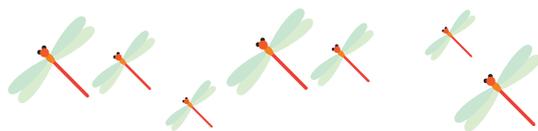
秋の合同彼岸会法要

日時 9月22日(土)

場所 永代供養墓「華苑」前

時間 10時～

彩の都メモリアルパークでは、上記日程で秋の彼岸会合同法要をお勤めします。是非、ご参列くださいますようお願い申し上げます。



彩の都メモリアルパーク

永代供養墓「華苑」のご案内

彩の都メモリアルパークでは永代供養墓「華苑」、永代供養塔「光明苑」をご案内しております。お墓の後継ぎのいない方や、これからのご自身のお墓に不安を抱えていらっしゃる方など。さまざまな方にご好評頂いております。

(TEL.048-921-4194)



永代供養墓
「光明苑」



永代供養墓
「華苑」

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、ぜひお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03(32205)1602 Mail: info@io-conet

■次号予告

次号は平成三十年十二月発行予定の「新年号」です。



◆編集後記◆

お彼岸の頃になると条件反射のようにおはぎが食べたくありませんか？

春には牡丹餅、秋には、秋の花である萩の花にちなんで秋のお彼岸には、「おはぎ」。季節によって呼び名を変えてしまうなんて、日本の風流を感じますよね。同じように、食べるための春の七草に対して、見て楽しむための秋の七草があります。暑い夏も終わり、そろそろ散策が楽しい季節が近づいてきたことです！「萩、桔梗、葛、藤袴、女郎花、尾花、撫子、秋の七草」五・七・五・七・七のリズムで覚えた秋の七草を口ずさみながら秋探しの散歩に出かけてみようかな。

さて、今号では浄土宗の中興の祖と言われる聖岡上人と聖聡上人について書いていますがそこに出てくる浄土宗の奥義を授かる「五重相伝」は実は浄土宗の寺院のどこでも受けることができるのだとか。但し、一般的には寺院の規模によって五日間もの儀式を行うのは難しいというのが現実のようです。大本山増上寺では、二年に一度「五重相伝会」が開かれていますのでご興味のある方は是非そちらで。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部